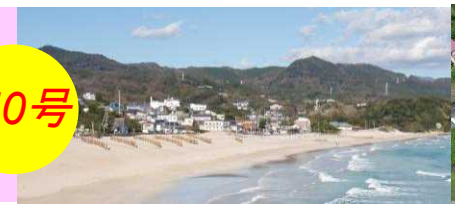
しら　はま
白浜
150号





令和8年11月　静岡県水産･海洋技術研究所伊豆分場ニュース

キンメダイ種苗生産研究の状況

当分場では、本所（焼津）の深層水科と協力しキンメダイ種苗生産技術開発に取り組んでいます。キンメダイの産卵期である7～10月に親魚捕獲調査を行い、今年度の産卵期の調査も終盤を迎えています。これまで調査を13回行いました。調査で採補されたキンメダイは活かしたまま当分場や本所（焼津・深層水施設）に運搬し様々な試験を行っています。

当分場での試験内容は、ホルモン投与、受精卵の確保、ふ化仔魚の飼育等を行っています。今年度はホルモン投与を行った個体から、1個体あたり約33g（卵数約3～4万粒）と多くの卵を得ることができました（写真左参照）。また、ふ化仔魚の飼育では適した飼育環境について試験を行い、一定以上の明るさで飼育することで、エサを食べることを確認しています。残念ながら、長期間のふ化仔魚飼育は実現していませんが、安定的な卵の確保、ふ化仔魚の長期飼育に向けて少しずつ前進しています。

今年度も多くの漁業者の皆様にご協力いただきながら試験を実施することができています。今後、良い成果を報告できるよう取り組んでいきます。





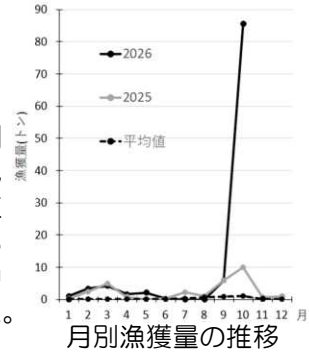
左：1個体から採卵　右：活かして運搬している様子

定置網でキハダ大漁

10月中旬以降、熱海市沖合の定置網（伊豆山・古網漁場）に「キハダ」が大量に入網しました。キハダは第2背鰭や尻鰭が鮮やかな黄色を帯びた大型のマグロで、刺身やツナ缶など幅広く利用される魚です。

26日時点での漁獲量は86トンで、10月の漁獲量としては昭和62年以降最多、平均値の86倍と極めて特異的な入網となりました。漁獲されたキハダは20～30kg主体で40～50kgサイズも混じり、脂のりが良く仲買人の評価は良好でした。





月別漁獲量の推移

異例づくしの今年の台風

今年の台風は10月末時点で既に31個発生しており、年間で30個以上発生したのは平成25年以来です。また、8月だけで10個の台風が発生し、月間で10個以上の台風が発生するのは60年ぶりだということです。

特に10月に沖を通過した台風27号では、当分場前の海もかなり大きな波が立ち、自然の脅威を肌で感じる状況でした（写真参照）。

このため、海を仕事場とする漁業者にとっては出漁できない日が多く、大変厳しいシーズンになっています。１日も早く台風の発生が収まり、操業に支障が出ない日が増えることを願っています。





11月の予定●潜水調査（白浜、稲取ほか）　●キンメダイ種苗生産試験　●イセエビ測定（下田、南伊豆）●相模湾シンポジウム（神奈川県6日）●定置協会生産者研修（伊東10日）●水産・海洋研究発表会（焼津20日）●駿河丸調査（24-26日）　●漁業者交流大会（焼津27日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場　〒415-0012　下田市白浜251-1　電話：0558-22-0835
アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp　ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu
当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。